

休日は美術館へGO!!

土日祝日にあわせて開催する、親子を対象とした講座です！

●創作教室アーツ×美術館

展覧会の内容と合わせたテーマで、創作教室「アーツ」による、幼児から小学校低学年の子どもを対象としたワークショップを行っています。(年7回)



●親子で楽しむワイヤーアート



水彩画・絵画入門講座

初心者のための入門講座。美術館ボランティアが講師となり、夜間(18:30~20:00)行います。

- 水彩画入門講座 6月~9月 第2、第4水曜日
- 絵画入門講座 10月~1月 第2、第4木曜日

その他特別展期間中に、講演会や関連イベントを行います。
※都合により、講座の日程が変更となる場合があります。

利用案内

■開館時間

午前9時~午後5時(受付は閉館の30分前まで)

■休館日

月曜日(第一月曜日、祝日、振替休日の場合は開館)

祝日の翌日(土曜・日曜の場合は開館)

年末・年始(12月29日~1月3日)

※その他、展示替えのため臨時休館となることがあります。

■観覧料

●コレクション展

	個人	団体(20人以上)
一般	150円	80円
大学・高校生	100円	50円
中・小学生	50円	30円

※市内の中・小学生は無料
※障がい者手帳をお持ちの方、市内在住の65歳以上の方は半額

●企画展・特別展 展覧会によって異なります。

施設の利用

■市民ギャラリーの利用(有料)

市民の創作発表の場として、2階・3階展示室を個展やグループ展などにご利用いただけます。

※市民ギャラリーは入場無料を条件とし、作品販売行為はできません。

■施設使用料

展示室使用料は1室1日8,330円です。

申し込みは使用開始予定日の10箇月前にあたる月の初日から受付けます。

交通案内

●バス利用の場合

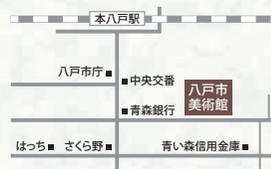
JR八戸駅東口前バス乗り場1番から中心街方面行に乗車、中心街ターミナル(三日町・八日町)下車、徒歩2分

●タクシーの場合

八戸駅から約20分
本八戸駅から約5分

●徒歩の場合

八戸駅から八戸線に乗り換え、本八戸駅下車、徒歩約10分



八戸市美術館

〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4
TEL 0178-45-8338 / FAX 0178-24-4531
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/>

Hachinohe City Museum of Art

平成28年度 展覧会のご案内

2016.4-2017.3



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」

八戸市美術館

八戸市美術館とは?

八戸市美術館は、八戸の中心街にあり、1986(昭和61)年11月に開館しました。

当館では、収蔵品を紹介するコレクション展や、国内外の優れた美術作品を紹介する特別展を開催し、鑑賞の場を提供するとともに、市民の創作活動の場として市民ギャラリーを提供しています。

また、各種講座や講演会を開催するほか、中心商店街や関係機関との連携事業を実施するなど、芸術を介した地域活性化にも取り組んでいます。

コレクション

地域に密着した美術館をめざし、郷土ゆかりの先人作家と同じく現代作家の作品を収蔵しています。また、地域の文化、産業振興への一助を担う分野として、伝統美術工芸品も収蔵しています。

主な収蔵作家 (敬称略・五十音順)

日本画

石橋 玉僊、杉山 光鳳、七尾 英鳳、橋本 雪蕉

油彩

石橋宏一郎、月館 れい、豊島 弘尚、名久井由蔵
西村健次郎、福勢 喜一、福田 寛、福田剛三郎
渡辺 貞一

水彩・素描・版画

樋口 猛彦、戸村 茂樹

書

佐々木泰南、和井田 要

彫刻

舟越 保武

工芸

石橋忠三郎、河井寛次郎、黒田 辰秋、島岡 達三
芹澤 銈介、濱田 庄司



脇坂春斎
「桑空造八稜箱」1995年



福勢喜一
「椅子によりかかる女」

特別展Ⅰ

「月館れい展」～描くことは生きること～

平成28年4月16日(土)～5月8日(日)

昨年死去した八戸市出身女流画家の先駆、月館れいの画業を振り返る初の大規模展覧会。二科会出品作をはじめ、水彩画やデッサン、画中のモチーフなど、その世界を紹介します。



月館れい「スペインの舞台」1990年

【主催】八戸市美術館
【入館料】一般 300(150)円
大学・高校生 100(50)円
小・中学生 50(30)円

企画展

市民アートサポート ICANOF(イカノフ)第14回企画展 《赤城修司+黒田喜夫 ——種差デコンタ2016》

平成28年8月26日(金)～9月11日(日)

災源60キロ圏に住む福島市民赤城修司「デコンタ：除染土仮置場」の写真展示に今、没後30年の詩人黒田喜夫「地中の武器」が甦る！美術批評家榎木野衣の「赤城論」と哲学思想家鶴岡哲の「黒田論」が炸裂する開幕トークも見逃せない！！



《除染中の赤城宅、空洞トレンチ、地中の武器のための？》
2013年6月21日——©Shuji Akagi

8月26・27・28日トークサミット

- テーマ1
《カリオキバとは何ものか？》
 - テーマ2
《動物であることを学ぶ、終に》
- ゲスト：
赤城修司・榎木野衣・鶴岡 哲
倉石信乃・金村 修・矢野静明
露口啓二・八角聡仁・佐藤英和
ほか

【会場】八戸市美術館
【主催】市民アートサポートICANOF
八戸市美術館
【入館料】入場無料

特別展Ⅱ

写真のまち八戸 特別展 —フジフィルム・フォトコレクションによる— 日本の写真史を飾った写真家の 「私の1枚」

平成28年7月16日(土)～8月21日(日)



奈良原一高「アメリカ・インディアン村の二つのゴミ缶 <消滅した時間>より」1972年

写真感光材料の生産から始まり、日本における「写真」を永く支えてきた富士フィルム株式会社は、創立80周年を記念して「フジフィルム・フォトコレクション」を立ち上げました。このコレクションは、写真技術が渡来した幕末明治から銀塩写真が最盛期を迎えた20世紀に活躍し、高い技術と感性で国内外で高く評価を受けた写真家101名の「この1枚」から構成されています。本展は、101枚すべてを展示し、日本における写真史と写真界の軌跡を展覧し、多くの方々の、写真における表現の多様性や日本写真史の変遷について理解を深める機会とするものです。

【主催】八戸市美術館
【特別協力】富士フィルム株式会社
【協力】コンタクト、フォトクラシック
【入館料】一般 500(250)円、大学・高校生 300(150)円、小・中学生 100(50)円

特別展Ⅲ

世界が絶賛した浮世絵師 「北斎展 一師と弟子たち」

平成28年10月1日(土)～11月6日(日)



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」

本展は、葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景」をはじめ、「忠臣蔵」「東海道五十三次」といったシリーズもの、役者絵、妖怪絵、洋風画や貴重な肉筆画などの作品を通して、北斎芸術の全貌を紹介いたします。また、北斎に影響を受けた弟子たちの作品と、フランス人画家アンリ・リヴィエールの「エッフェル塔三十六景」も紹介し、海外における北斎の人気と秘密に迫ります。会期中ギャラリートーク開催予定。また、八戸クリニック街かどミュージアムにおいて、関連展覧会を開催。

【主催】八戸市美術館 【企画協力】ステップ・イースト
【入館料】一般 500(250)円、大学・高校生 300(150)円、小・中学生 100(50)円

八戸市美術館開館30周年記念企画

「美術館の歩みと これからの美術創作活動に向けて」

平成28年9月17日(土)～25日(日)

【主催】八戸市美術館
【入館料】一般 300(150)円、大学・高校生 100(50)円、小・中学生 50(30)円

特別展Ⅳ

教育版画展 「虹の上をとぶ船」

平成29年2月4日(土)～3月20日(月)



八戸市立漆中学校養護学級生徒共同制作
「星空をベガサスと牛が飛んでいく」「虹の上をとぶ船 総集編Ⅱ」より 1976年

1956年から1970年代にかけて八戸市内の中学校では子どもたちによる共同制作という教育版画の実践が行われ、当館には、この一連の版画群のうち「船の一生」「虹の上をとぶ船」「うみねこのうた」「海物語」など、八戸市の中学生たちが生み出した多数の作品が収蔵されています。子どもたちの表現力と教育版画とのたぐいまれな出会いの一つが八戸の地において結実した成果を、どうぞご覧ください。

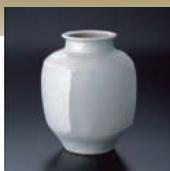
【主催】八戸市美術館
【入館料】一般 150(80)円、大学・高校生 100(50)円、小・中学生 50(30)円

コレクション展Ⅰ

「瀧田項一と白磁」

平成28年5月21日(土)～7月3日(日)

富本憲吉と濱田庄司という近代日本陶芸を代表する二大巨匠に師事し、後に会津の白磁の伝統を吸収して独自の世界を切り開いた瀧田項一の世界を紹介します。



瀧田項一「白磁方壺」

コレクション展Ⅱ

「八戸の戦後画壇」

平成28年11月19日(土)～
平成29年1月29日(日)

八戸の女流画家のさきがけとなった月館れいの初期を導き、また、その後続く世代を送り出す力となった、西村健次郎や石橋宏一郎らの作品を通して戦後の八戸画壇を振り返ります。



西村健次郎「静物」
1948年

2016.4

5

6

7

8

9

10

11

12

2017.1

2

3

企画展
特別展

特別展Ⅰ
「月館れい展」
4/16(土)～5/8(日)

特別展Ⅱ
フジフィルム・
フォトコレクション展
7/16(土)～8/21(日)

企画展
ICANOF
《赤城修司+黒田喜夫
——種差デコンタ2016》
8/26(金)～9/11(日)

特別展Ⅲ
「北斎展」
10/1(土)～11/6(日)

特別展Ⅳ
「虹の上をとぶ船」
2/4(土)～3/20(月)

常設展

コレクション展Ⅰ
5/21(土)～7/3(日)

コレクション展Ⅱ
11/19(土)～1/29(日)